

V 評価指標と関連する取組み項目

<小・中学校：食に関する指導の充実>

評価指標

児童生徒への「食に関する指導」の成果が感じられると評価する学校の割合
.....95% [H29(2017)]86%

評価指標と関連する取組み項目 (食育推進状況調査より)

項目	現状 [H29(2017)]	目標 (目安) [H34(2022)]
安全や衛生に気をつけて、給食の準備や片付けをしている児童生徒の割合	65%	70%以上
好き嫌いなく食べようとしている児童生徒の割合	60%	70%以上
食べ物や作ってくれる人への感謝の気持ちを表している児童生徒の割合	49%	60%以上

(食育推進状況調査より)

<保護者・地域：家庭での食育の推進>

評価指標

家庭での食育が大切だと思う保護者の割合
.....80% [H29(2017)]75%

評価指標と関連する取組み項目 (保護者アンケートより)

項目	現状 [H29(2017)]	目標 (目安) [H34(2022)]
家庭での食育において、心をこめて「いただきます」「ごちそうさま」のあいさつをすることが大切だと思う保護者の割合	78%	85%以上
家庭での食育において、食事のマナーを守って食事をするのが大切だと思う保護者の割合	74%	80%以上
家庭での食育において、栄養バランスを考えて食べることが大切だと思う保護者の割合	69%	80%以上

(保護者アンケートより)

<食教育推進委員会：学校や家庭への指導や支援>

評価指標

食育推進のために役立っていると80%以上の学校が評価する取組み※の数
.....3項目 [H29(2017)]1項目

※取組み…1 栄養教諭・栄養士による指導、2 情報発信、3 食育啓発資料、4 「早寝・早起き・朝ごはん」運動、5 食農体験
6 全体計画モデル案、7 食育講習会、8 子どもが作る「弁当の日」、9 授業研修会、10健康教室、11親子料理教室・食育講座

評価指標と関連する取組み項目 (食育推進状況調査より)

項目	現状 [H29(2017)]	目標 (目安) [H34(2022)]
栄養教諭・栄養士による指導が食育推進のために役立っていると思う学校の割合	91%	95%以上
情報発信（献立表、給食だより、ホームページ等）が食育推進のために役立っていると思う学校の割合	76%	85%以上
食育啓発資料（新小1年生用冊子「学校給食が始まります」、食育奨励クリアファイル等）が食育推進のために役立っていると思う学校の割合	47%	80%以上

(食育推進状況調査より)

VI 食に関する指導の目標 具体例

		食の大切さや楽しさを実感させる	食べ物や家族・地域への感謝の気持ちを育てる	食を選択する力を育てる
小学校	低学年 (1・2年)	食事の重要性 ・食べ物に興味・関心をもつ。 ・朝食の大切さがわかる。	感謝の心 ・食事を作ってくれた人に感謝する。	心身の健康 ・好き嫌いせずに残さず食べようとする。 ・よく噛んで食べることができる。
		社会性 ・友だちと仲良く食べる。	食文化 ・自分の住んでいる身近な土地でとれた食べ物を知る。	食品を選択する能力 ・いろいろな食べ物の名前が分かる。
	中学年 (3・4年)	食事の重要性 ・3食規則正しく食事を取り、生活のリズムを整えることの大切さがわかる。	感謝の心 ・食事は多くの人々の努力があって作られることを知り、感謝の気持ちをもってしっかりとあいさつをして食べることができる。	心身の健康 ・健康に過ごすことを意識して、いろいろな食べ物を好き嫌いせずに食べようとする。
		社会性 ・食事のマナーを考えて楽しく食事ができる。	食文化 ・地域の産物に興味をもち、日常の食事と関連付けて考えることができる。	食品を選択する能力 ・いろいろな料理の名前がわかる。
	高学年 (5・6年)	食事の重要性 ・朝食をとることの大切さを理解し習慣化している。 ・日常の食事に興味をもつ。	感謝の心 ・食事にかかわる多くの人々や自然の恵みに感謝し、残さず食べることができる。	心身の健康 ・食事が体に及ぼす影響や食品をバランスよく組み合わせる食べることの大切さを理解し、一食分の献立を考えて調理をすることができる。
		社会性 ・食事の準備や後片付けをよりよく実践しようとする。	食文化 ・食文化や食品の生産・流通・消費について理解を深める。	食品を選択する能力 ・衛生的に食事の準備や後片付けをすることができる。
中学校		食事の重要性 ・毎日規則正しく食事をとることができる。	感謝の心 ・生産者や自然の恵みに感謝し、食品を無駄なく使って調理をすることができる。	心身の健康 ・自分の生活や将来の課題をみつけ、望ましい食事の仕方や生活習慣を理解し、自らの健康を保持増進しようとする。
		社会性 ・会食について関心をもち、楽しい食事を通して望ましい人間関係をよりよく構築しようとする。	食文化 ・食文化や歴史と自分の食生活との関連を考えることができる。	食品を選択する能力 ・食品に含まれている栄養素や働きが分かり、品質の良否を見分け、適切な選択ができる。

(文部科学省：食に関する指導の手引きー第一次改訂版ーより)

静岡市教育委員会事務局教育局 学校給食課
平成30年1月 発行
イラスト：少年写真新聞社 SeDoc